

『統計検定準 1 級対応 統計学実践ワークブック』

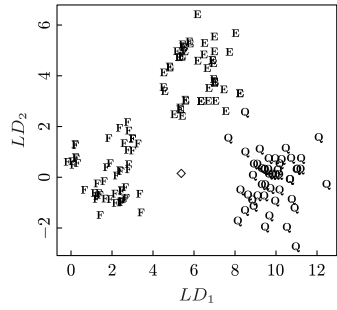
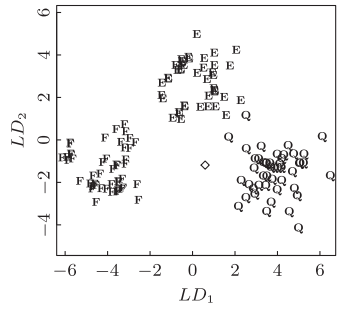
(日本統計学会 編, 学術図書出版社)

正誤表 第 1 版 第 6 刷 用

頁	場所	誤	正
65	8 行目	「これを, 最尤推定量の漸近正規性 (asymptotic normality) という。」 に脚注として以下を追加してください。 なお, 漸近正規性をもつ推定量に対して, その極限分布の分散がクラメル・ラオ不等式の下限を達成することを漸近有効性と定義することもあるが, 分散の極限と極限分布の分散は一般には異なるので, 上記の漸近有効性の定義とは厳密には異なる。	
66	下 14 行目	半径 r を	半径を
66	下 11 行目	このとき	コインの半径は平均 r の確率分布に独立同一に従うとするとき
67	下 1 行目	$\frac{1}{n} \sum_{i=1}^n x_i$	$\frac{1}{n} \sum_{i=1}^n X_i$
68	4 行目	最尤推定量である。	最尤推定値である。これより 最尤推定量は $\frac{1}{n} \sum_{i=1}^n X_i$ である。
69	4 行目	「ある。」の後に以下を追加してください。 ただし, これはコインの半径が平均 r の分布に従うと仮定したからであり, コインの面積が平均 πr^2 の分布に従うなら, 観測面積の平均を用いても問題ないことに注意。	
101	5 行目	6 人に与えられる順位の組合せ	群 A の 3 人に与えられる順位の組合せ
101	下 2 行目	7 人に与えられる順位の組合せ	群 A の 3 人に与えられる順位の組合せ
105	14 行目	(x_i, y_i) と (x_j, y_j) ($i \neq j$)	(x_i, y_i) と (x_j, y_j) ($i < j$)
106	下 14 行目	6 人に与えられる順位の組合せ	A 群 3 人に与えられる順位の組合せ
124	3 行目	$X_t = \sum_{k=1}^{N_t} U_k$	$X_t = \sum_{k=1}^{N_t} U_k$
166	下 14 行目	特性 (characteristics)	特性 (characteristics)

- 178 下1行目 $2^{3-1} = 8$ $2^{4-1} = 8$
- 185 下2行目 すべて調査単位 すべての調査単位
- 191 下8行目 修正項 $(N - n)(N - 1)$ 修正項 $(N - n)/(N - 1)$
- 198 例2 [1] 小テストの結果を図22.1のように第1, 第2主成分で 小テストの結果を第1, 第2主成分で
- 204 下7行目 $(\hat{w}^\top \bar{x}_1 + \hat{w}^\top \bar{x}_2)/2$ $(\hat{w}^\top \bar{x}^{(1)} + \hat{w}^\top \bar{x}^{(2)})/2$

213 図23.4



(軸の範囲および◇の位置を変更)

- 213 5行目 アルファベットLを表すサンプル $\mathbf{x}_L = (2.5, -1.1, 0.0, -0.8, 1.0)^\top$ アルファベットAを表すサンプル $\mathbf{x}_A = (0.9, 0.7, 0.8, 2.1, 5.2)^\top$
- 213 8行目 新しく観測したL 新しく観測した \mathbf{x}_A
- 214 下2行目 Lに対応する新しいサンプルを射影した点 $(\mathbf{w}_1^\top \mathbf{x}_L, \mathbf{w}_2^\top \mathbf{x}_L) = (0.44, -1.24)$ からの距離はそれぞれ8.05, 2.10, 9.60である。 Aに対応する新しいサンプルを射影した点 $(\mathbf{w}_1^\top \mathbf{x}_A, \mathbf{w}_2^\top \mathbf{x}_A) = (5.52, 0.31)$ からの距離はそれぞれ4.01, 3.57, 4.41である。
- 216 下10行目 $d_m(\mathbf{x}, \mathbf{y}) = \sum_{i=1}^p (|x_i - y_i|^m)^{1/m}$ $d_m(\mathbf{x}, \mathbf{y}) = \left(\sum_{i=1}^p |x_i - y_i|^m \right)^{1/m}$
- 242 1行目 $|\phi| > 1$ ならば $|\phi_1| > 1$ ならば
- 250 下7行目 周期が λ_1 から λ_2 の変動に帰着する変動 周波数 λ_1 から λ_2 に帰着する変動
- 272 14行目 性質1 $A, B \in V$ が連結でないなら, 因子 A, B は独立である。 性質1 $A, B \in V$ が連結でないことと, 因子 A, B が独立であることは同値である。
- 282 12行目 $\exp\left(-\frac{(x_i - \mu)}{2\sigma^2}\right)$ $\exp\left(-\frac{(x_i - \mu)^2}{2\sigma^2}\right)$
- 285 下6行目 アリゴリズム アルゴリズム

314	下 9 行目	$\{g_1(x_1), \dots, g_j(x_m)\}$	$\{g_j(x_1), \dots, g_j(x_m)\}$
317	下 10 行目	標準誤差を $\widehat{\text{se}}(x)$ を求め	標準誤差 $\widehat{\text{se}}(x)$ を求め
